

心ゆたかに

発行株式会社天峰建設 袋井市横井 115-3
TEL0538-43-6773 FAX0538-43-7250
ホームページ 天峰建設で検索を
Eメール tenpou@mail.wbs.ne.jp

第 150 号 発行日 令和 2 年 1 1 月 1 日

厳かに式年遷宮

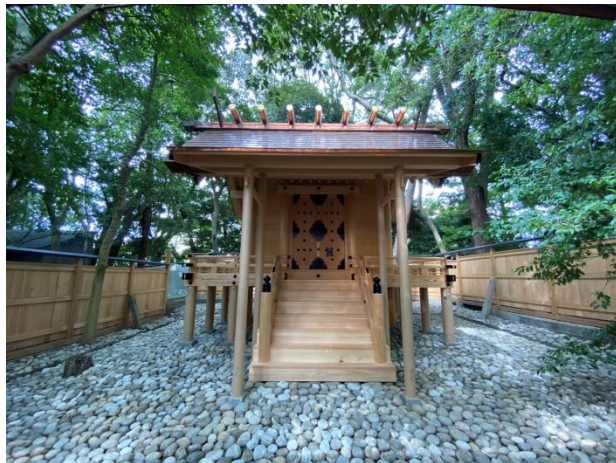
昨年の一〇月より浜松市東区神立町の蒲神明宮様では二〇年に一度の式年遷宮に伴う工事として、外宮本殿と神門の改築工事を進めてまいりました。四月に本殿改築の上棟祭を行い工事は順調に進められ、八月には「お白石持行事（おしらいしもちぎようじ）」が執り行われました。



白玉石を本殿に1人ずつ運びます。

「お白石持行事」とは式年遷宮の祭事の一つで、新しくなった

本殿の敷地に白い石を敷き詰める行事のことです。大衆が参加でき一般人が本殿を間近に見られる唯一の機会でもありません。今年は八月の終わりになつても残暑が厳しく、連日の猛暑日が続いている中での行事となりました。珍しい行事なので当初は氏子や地区の小学生を招く予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため宮司、総代と工事関係者のみの参加となりました。



蒲神明宮様と地区の皆様を見守る本殿

そして九月一六日には新しくなった本殿にご神体を移す遷座式、十月一

日には「式年遷宮奉祝祭」と行事が続いて行われました。遷座式は夕方から始まり、日が落ちあたりも暗くなってきたころから、ご神体が仮本殿から新しい本殿に移されました。一連の神事が粛々と進められ、めったに経験することができない幻想的な雰囲気でした。つぎの一〇月一日の奉祝祭は前日まで台風が来るのではないかと心配でしたが、快晴の空の下総代の方々と地区の代表者の皆様が参列し、神事は厳粛に行われ、式年遷宮の一連の儀式が無事に終了いたしました。

弊社としては蒲神明宮様の式年遷宮に携わらせていただき、貴重な体験をすることができ感謝しております。今回の式年遷宮は新型コロナウイルスの為に、すべての行事を縮小しなければならなくなりとても残念なことと思います。二十年後の式年遷宮では、今回のコロナウイルスのことが笑い話になり賑やかに行われることを祈っております。また次の式年遷宮にも弊社にご用命いただけるように今後ますます努力してまいりたいと思っております。